

プロスポーツ選手の報道に見る神経症状

プロスポーツ選手が罹患した神経症状をトレーナーの鍼治療のミスと認め
チームが本人に謝罪したとのニュースをご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

報道では「鍼治療によって長胸神経麻痺となった」と伝えられているため、多くの方が「鍼が神経を傷つけた」と思われているようです。本会にも「鍼が神経に刺さるのかどうか」や「利用者から同じような質問を受けたらどのような説明が望ましいか」などの質問が寄せられました。

● 本会が複数の施術関係者に聞いたところ次のような見解がありました。例えば、当該行為において鍼治療と併せてマッサージ的な行為を行ったとします。この場合、トレーナー（鍼師）があん摩マッサージ指圧師の資格を保持していなければ、マッサージとはいわず鍼治療（の一環）と表現されます。チームとしては原因の断定には至りませんでした。鍼治療と表現した行為と麻痺の因果関係を完全には否定できないことから、「これぞ大人の対応」といわれるような行動を取り、チームが選手に謝罪したとも考えられます。



神経症状が疑われる症状は鍼治療に限ったものではありません。鍼師が使う鍼は注射針と違い柔らかく、神経を傷つける恐れは極めて低いといわれます。

本会が受ける相談では件数は少ないものの、神経症状を伴うものは鍼より手技が原因とされる割合が高くなっています。これらは初回利用（初診）を含め、十分にコミュニケーションが取れていない利用者からの訴えが多いようです。

● 施術家からみれば、元々の症状が施術と関係なく悪化したと思える症例もあります。ただ、施術者の意図に反して利用者には施術が原因と思わせてしまったのであれば、施術前の説明不足または利用者の理解している度合いの確認不足などが要因に挙げられます。

神経症状を訴えるクレームは、原因が何であれ高額請求になる傾向があり、本会でも請求額が1千万円を超える裁判を何度か経験しています。たとえ利用者の思い込みであっても、提訴されれば法廷で争わなければなりません。裁判は長期化する傾向がみられます。

多くの利用者から感謝されているからこそ、注意しなければいけないごく少数の利用者を見逃しがちです。技術の向上と合わせ、1回1回の利用者に対する姿勢を再認識することで減らすことができるクレームであると考えます。

ONE POINT

利用者の体が出しているサインを把握し、それをしっかりと本人に伝えることは
施術家の大切な役割のひとつと考えます。

JHA NEWS

☆本会ではさまざまな施術事故の症状に対しても状況に合わせたアドバイスを行っております☆
・施術トラブル / クレーム対応無料電話相談・JHANEWSの発行・会員保障制度など
ご希望の方には病气やケガで働けないときの支えとして所得補償保険を提供しています（別途保険料が必要）

国家資格者

会員種別

正会員 A 準会員

すべての治療家、施術家に
安心・安全を提供します

入会金無料

民間施術者

会員種別

正会員 B

【ご不明な点・詳細につきましては、お気軽にお問い合わせください】



一般社団法人 日本治療協会

Japan Healing Association

URL: <http://www.jha-shugi.jp>

E-mail: info@jha-shugi.jp

© JHANEWSのバックナンバーはホームページでご覧いただけます©

TEL: 03(5289)8171

FAX: 03(5289)8173

TEL 受付: 10:00 ~ 18:00 (平日)

FAX 受付: 24時間年中無休

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-1